

平成29年度 第5回 東松島市復興まちづくり計画市民委員会 【開催概要】

平成 29 年 12 月 7 日（木）19 時より、東松島市役所本庁舎 202 会議室において、市民委員 14 名およびアドバイザー企業 6 社が出席し、平成 29 年度第 5 回東松島市復興まちづくり計画市民委員会が開催されました。

【内容】

1. 市長挨拶
2. 意見交換
～東松島市復興まちづくり計画について～



■意見交換 ～東松島市復興まちづくり計画について～

東松島市復興まちづくり計画の残り 3 年（平成 30 年度～平成 32 年度）において「何を大切にして復興まちづくりを進めて欲しいか」について、委員がグループに分かれて意見交換を行いました。具体的には、委員が互いに「自分が最も大切にしたいと思うこと」を出し合った上で、「私たちが最も大切にしたいと思うこと」についてグループでの意見をまとめ、その後、全体で意見交換を行いました。

◇復興まちづくりにおいて大切にしたいことについて（一部意見を要略）

- ・高齢化が進む中、高齢者が住みよいまちづくりが必要。ひとり暮らし高齢者も増えており、コミュニティづくりが課題である。また、高齢者の雇用促進や福祉分野のワンストップ相談窓口設置などに取り組んでほしい。
- ・本市は今年度から自治会制度に移行したが、複数の行政区が統合し規模が大きくなった自治会では、リーダーが組織運営に苦勞しているようである。リーダーを対象とした研修会を実施するなど支援が必要である。また、現在の地域コミュニティ活動は高齢者が中心であり、若い方の参画促進が課題である。
- ・自分が住んでいるまちが好きであるという「地元愛」があるところには、一度地元を離れても戻りたくなる。多世代にわたる地域包括ケアシステムや仙台等への交通アクセス等を充実し、住み続けたい、戻りたくなるまちづくりを目指したい。
- ・本市の豊かな海・山を活かした観光産業に注力し、交流促進を図ることで、市外から若者や企業が集まり、定住促進に結びつくのではないかと。子どもたちの健全な育成のためにも、市外との交流は大切である。



市長挨拶



意見交換

